

学術フォーラムの概要について（事後報告）

1 名称：「認知症—予防と共生に向けて学術の取り組み」

2 日本学術会議以外の共同主催団体等：
・後援：厚生労働省、日本認知症学会

3 開催日時：令和2年2月14日（日） 13時00分～17時10分

4 開催場所：日本学術会議講堂

5 開催趣旨：

現在、日本を含めた国際社会が解決すべき最大の課題の一つは、「認知症」と考えられています。多少、過剰な反応とは言え、最近のメディアの論調を見ても、「認知症が米
国を崩壊させる」「認知症の急増が、公的保険制度を破壊する」などと言った記事を数多
く目にします。これは、確かに、煽情的ではありますが、極めて近い将来、日本や先進国
が遭遇する可能性を示しています。

日本学術会議は、これまで、老化や高齢化の問題を取り上げて参りましたが、「認知症」
を真ん中に据えた学術フォーラムの開催は行っておりませんでした。今回、私達は、認知
症に対して正面から向き合い、認知症との「共生」と「予防」に向けて、何ができるの
かを専門家と市民で考える学術フォーラムを準備しました。是非、皆様のご参加をお待ち
しております。

6 参加人数：

講演者等：21名

その他の参加者：111名

7 特記事項：

- ① NHK、読売新聞、認知症関連のメディア関係者の聴講あり
- ② 認知症に関する包括的検討委員会のメンバーが中心となった開催であり、本フォーラム
の内容を提言に反映する方向で検討中